

第31回文学講座のお知らせ

テーマ

『それでも神はいる —遠藤周作と悪』を書いて

講師：今井 真理氏（文芸評論家）



遠藤文学の根幹には、日本人にとっての基督教とは何かという問題と、アウシュヴィッツをはじめとする「悪の問題」があります。アウシュヴィッツを訪れた遠藤は、この大虐殺が行われた地に立ち、それでも人間は信じられると記しました。遠藤が考える信仰と懐疑とは何か。また、それらの問題とともに、生前の遠藤氏と交友がおりだった今井先生より、当時の思い出についてもお話いただきます。

日時

2016年2月20日(土) 13:30～15:30

- ◆場所 遠藤周作文学館
- ◆定員 40人（先着順）
- ◆受講料 無料（但し入館料は必要）
- ◆申込方法 お電話またはFAXで
- ◆申込期限 2月19日（金）
- ◆申込先 〒851-2327長崎市東出津町77
電話：0959-37-6011
FAX：0959-25-1443

※キャンセルの場合は事前にご連絡ください。

講師紹介

今井 真理氏（文芸評論家）

1953年、東京都生まれ。文芸評論家。聖心女子大学国語国文学科卒業、同大学院修士課程卒業。専門は日本近代文学・現代文学。日本ペンクラブ会員・日本キリスト教文学会会員・遠藤周作学会会員。「薔薇と復活：遠藤周作の戯曲『薔薇の館』を考える」（「三田文学」、2013年）他論文多数。共著として『遠藤周作の研究』『遠藤周作『沈黙』作品集』、近著に『それでも神はいる』（慶應義塾大学出版会、2015年）がある。

【FAX申し込み用紙】

申込者氏名：	周作クラブ長崎 会員 ※	年齢	歳	長崎市内・市外（ ）
同伴者氏名： 1			歳	代表者連絡先：
2			歳	
3			歳	

FAXはこの用紙でお申込できます。Fax/ 0959-25-1443

※周作クラブ長崎会員は欄に○をご記入ください。